

序

当研究所は、昭和49年度も恒例の事業として教育論文集の刊行を企画し、原稿を募集いたしましたところ、各校の先生方から12編の原稿をお寄せいただきました。

本年は、12編のうち10編が実践記録、2編が特別寄稿のものでありますが、実践記録10編のうち半数の5編は、学校としての研究あるいはグループの研究で占めてあります。また、この実践記録10編は、2編のみが教科指導に関するもので、他の8編はいわゆる教科外の教育指導に関するものであります。このような実践記録の全体的傾向をみますと、現在の足利の教育研究は、グループ研究がかなり多くなってきているのではないかと推察されますし、また、先生方の研究の関心も、いわゆる知的な教育指導の問題から直接人間資質の形成にかかわるような問題へと拡大・深化しているようにも考えられます。さらに、これらの実践記録の一つ一つをみますと、現在の教育思潮の動向を敏感には握しながらなお教育の原点を探るといった様子が伺われますが、このような先生方の姿勢こそ今後の新しい足利の教育を築く原動力になるのではないかと大きな期待を感じております。

なお、今回は毛野中学校の2名の英語担当の先生から性教育に関する資料を特別に御寄稿いただきました。現在、当地においても性教育の研究実践が盛んになりつつある時、これらの資料はいろいろな意味で、私たちに多くの示唆を与えてくれるものと思います。

以上、各先生方からそれぞれ特徴を持った論文をお寄せいただきましたが、各学校の先生方がこれらの論文を適宜御検討いただき、日常の会話の中で話し合われたり、また、現職教育の資料として活用していただければ、寄稿者はじめ関係者一同この上ない幸せと存じております。

おわりに、論文原稿をお寄せくださった先生をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申しあげるとともに、みなさまのますますの御活躍を祈念して序といたします。

昭和50年3月

足利市立教育研究所長 高 橋 黄 未